

浦添市コミュニティバス導入検討協議会「第 4 回委員会」議事要旨

日時：平成 22 年 11 月 30 日（火） 14:00～15:00

場所：浦添市役所庁舎 6 階 601 会議室

【議題】

報 告

- (1) 第 3 回委員会、第 4 回幹事会議事要旨について
- (2) 実証実験運行詳細計画について
- (3) 各種調査の実施について

【議事要旨】

■ 第 3 回委員会、第 4 回幹事会議事要旨について

主な指摘・意見	回答・（対応方針）等	関連
特になし。	特になし。	資料 1

■ 実証実験運行詳細計画について

主な指摘・意見	回答・（対応方針）等	関連
アンケート調査票（案）の P6,8 について、「定時性」が「定時制」と誤っている。修正願いたい。	事務局： 了解した。	参考資料 1 P6,8
本コミュニティバスのバス停及び時刻表は、他バス路線と比較してわかりやすい物となっているのか？ チラシでは、主なバス停のみ時刻表が掲載されているがバス停には詳細な時刻表が貼付されているのか？	事務局： バス停は、新設バス停については既存のバス停より小型のバス停を設置し、既存バス停については、現状のまま利用している。また、時刻表は通常白黒印刷だが、今回はカラー及びラミネート加工することでわかりやすく表現している。さらに、ルート図やチラシをバス停に貼付し利用者の利便性向上を図っている。 バス停にはそれぞれのバス停の時刻表を貼付している。また、全バス停の時刻表については事務局にて必要な方に配布する準備をしている。さらに、今後浦添市コミュニティバス専用のホームページを開設し、その中でも提供する。	資料 2 P6

■ 各種調査の実施について

主な指摘・意見	回答・（対応方針）等	関連
特になし。	事務局： アンケート実施までには多少時間があるため、配布したアンケート調査票についてご指摘がある場合は後日でも事務局宛にご連絡頂きたい。	資料 3

浦添市コミュニティバス導入検討協議会「第5回幹事会」議事要旨

日時：平成23年2月2日（水） 10:00～11:30

場所：浦添市役所庁舎 6階 601会議室

【議題】

報 告

- (1) 協議会設置要綱の改正について
- (2) 第4回幹事会、第4回委員会議事要旨について
- (3) 実証実験実施結果（中間報告）について

【議事要旨】

■ 協議会設置要綱の改正について

主な指摘・意見	回答・（対応方針）等	関連
特になし。	特になし。	資料1

■ 第4回幹事会、第4回委員会議事要旨について

主な指摘・意見	回答・（対応方針）等	関連
特になし。	特になし。	資料2

■ 実証実験実施結果（中間報告）について

主な指摘・意見	回答・（対応方針）等	関連
乗車実績グラフに最低気温も掲載してはどうか。	事務局： 持ち帰り検討したい。	資料3 P4
実証実験後の本格運行に対してバス事業者の意見は聞いているのか？ 朝夕の通勤退社時間帯の利用が少ない。利用促進活動として何か検討しているのか？	事務局： 今後、バス事業者と意見交換を予定しており、本格運行に対する意向、今後の方向性等を把握・検討していく予定である。 現在、利用促進活動として「ゆいレール1日フリー乗車券引換券」を提供中（2/1現在：計132枚のフリー乗車券と引換済み）。また、車内にて市内行事のチラシ等を掲示して利用促進を図っている。	資料3 P6
ゆいレール1日フリー乗車券引換券の引換期限はいつまでか？	事務局： 期限は設けてなく「ゆいレール1日フリー乗車券」が無くなるまでを予定している。	資料3 P43
日中の利用や買い物、レジャー・観光目的での利用が多い。利用者は毎日利用しているわけではない。継続運行を考慮した場合、通勤・通学者が利用しやすいルート設定などが必要ではないか。本格運行を考慮すると、週に3～4程度利用される工夫が必要と感じる。 陸上競技場前バス停は利用者が少なくバス停は必要なのか？施設利用者はコミュニティバスを利用する移動形態ではないのでは？	事務局： 本格運行した際には回数券・定期券の利用が可能になるため通勤・通学利用が現在よりは増える見込み。ただ、現在のルートでは目的地によっては遠回りという意見もあり、本格運行の際にはどこまで考慮できるのか検討したいと考えている。 意見交換会で浦添市体育協会やまじゅんらんさんから、車内広告等を活用したいのご意見もあり、周知が浸透すれば利用が増える見込み。	資料3 P6,9,18

路線バスでは城間や浦添市役所まで 140 円で利用できる。本コミュニティバスは 200 円かかり料金が低い。100 円希望する声もあるが料金について今後どう考えているのか？ 高校生までは 150 円という料金設定があっても良いのではないかな？	事務局： 100 円での運行を希望する声も把握しているが、過去 100 円で運行しその後利用者が減り運賃を値上げしたという路線もある。安ければ利用者が多く採算がとれるという事でもない。ただ、利用区間によっては高いということは把握しており、本格運行時の課題との認識は持っている。 道路運送法に基づく運賃設定を認可する国の方針や他の路線との競合等も考慮しつつ検討すべき課題とは考えている。	資料 3
設問 8、9 (個人に対する質問 8「以前の移動手段」、質問 9「連携して使用している移動手段」)の結果に対する見解を聞かせてもらいたい。	事務局： 集計数が少なくすべての意見を反映しているとは言い切れないが、車からの転換が予想より多いと感じた。ただ、駐車場を契約している方など潜在的な需要がまだあることを考慮すると、本格運行後に利用者数が伸びる可能性があると考えている。また、通院目的で利用している方もおり、ルート上には病院が幾つかあることから、まだ開拓する余地があると感じている。	資料 3 P19
2月12日は「教育の日」で、てだこホールにおいて表彰式があり、利用者数の増が見込める。また、利用者の傾向を見ても本コミュニティバスの交通弱者への支援という面でとても評価している。	事務局： 2月月はてだこウォーク、プロ野球のキャンプなどもあり、利用者数の増を期待している。	資料 3
定時性についてはどうなっているのか？	事務局： 定時性を確保するため、一時停車により時間調整を行うなどの対策を行っている。その結果、利用者からは概ね定時性は確保されているという意見を頂いている。	資料 3
身障者割引は実施しているのか？身障者はどのように判断しているのか？	事務局： 路線バス同様に身障者割引（半額割引）を実施している。判断する手法として障害者手帳の提示をお願いしている。	資料 3